

令和2年度 吹田市公認スポーツ指導員事後研修会

日時:令和2年11月30日(月)午後7時 / 場所:吹田市文化会館 メイシアター

講師:(株)HAコンサルティング代表取締役 保田 芳明 氏

「指導者としてのスキル向上のために」

指導員の役割は、

「主催者・設計者・伝達者・コミュニケーター・モチベーター・評価者」

今回は「モチベーター」として参加者の“やる気を引き出す”ことの意味とやり方についてお伝えいたします。

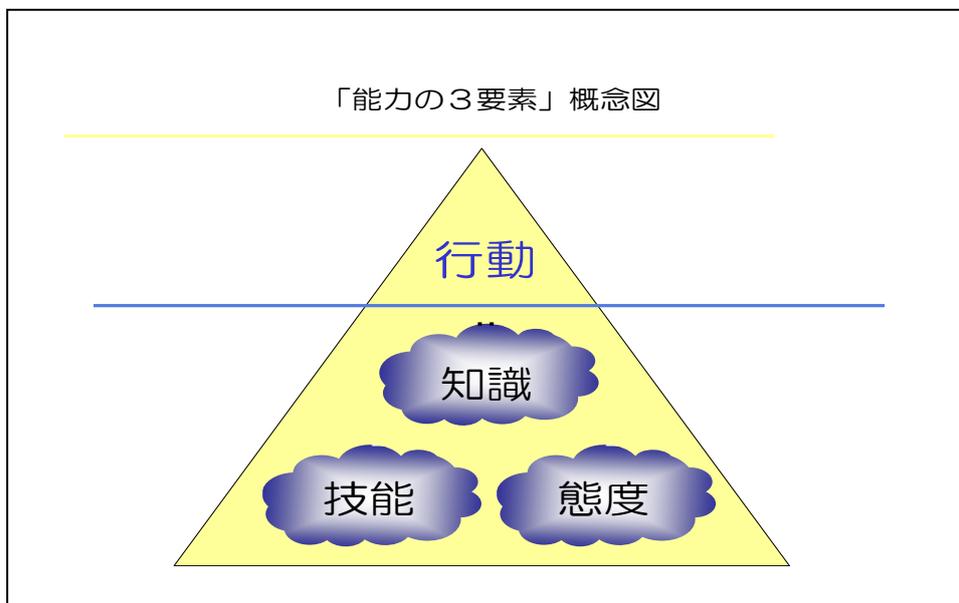
1. やる気を引き出す”ことの意味。

◆「能力の3要素」

「知識」、「技能」と「態度」が能力の3要素。

「態度」とは、“意欲・やる気”

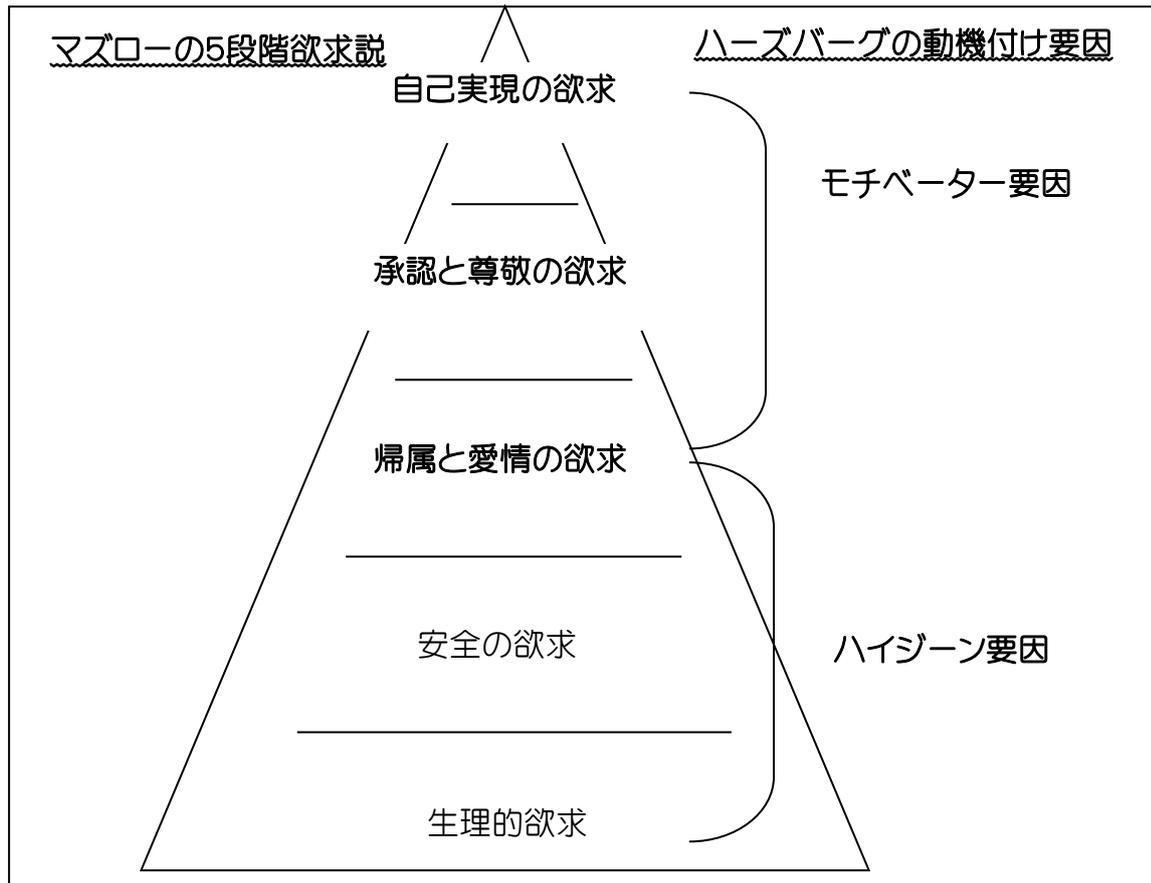
「態度(=意欲・やる気)」が高まれば、「知識」、「技能」も高まる



2. やる気を引き出す“やり方”

◆人の潜在的な欲求を理解する。

「マズローの5段階欲求説」と「ハーズバーグの動機付け要因」
ポイントは、「帰属と愛情の欲求」と「承認と尊敬の欲求」
「帰属と愛情の欲求」 社会的欲求 : 集団に所属したい、仲間をもちたい。
「承認と尊敬の欲求」 自分自身を価値ある存在として認めてもらいたい。



◆人の潜在的な欲求に応える。

1. 共に学び成長しようとしている仲間であるという基本態度で接する。
2. 「フィードバック」と「フォローアップ」で支援する。

「フィードバック」 = 事実を基に“できているところ”と“できていないところ”
を伝える。

“できているところ”は : もっと出来るようになるためのアイデアを提供する

“できていないところ”は : 出来るようになるためのアイデアを提供する

「フォローアップ」 = 確実にできるよう、もっと出来るようになるように支援
する。(「傾聴～質問～復唱～提案」で共学し共育する)